# 第９回室戸市統合中学校あり方検討委員会議事録（概要）

日　　時　　令和７年４月２４日（木）１９：００～２０：２５

場　　所　　室戸市役所２階第１会議室

出席委員　　小松伸稔委員長、手島泰副委員長、小松武志委員、萩野慎人委員、
谷渕隆二委員、中屋康一郎委員、北川弘美委員、貝川和嗣委員、
黒岩文弥委員、中原洋人委員、上田摩美委員、杉本優委員、
作田将基委員、勝田真也委員、西本啓純委員、井口司委員、
京田ひとみ委員、町田幸寛委員、森岡美和委員　計１９名
欠席委員　　松尾拓哉委員、松吉由季委員、中村幸奨委員、岡田茂委員
石建結香委員　　計５名
事 務 局　　百田教育長、松下教育次長兼学校教育課長、
祝学校教育課長補佐、髙﨑学校教育課班長　　計４名
出 席 者　　高知県立室戸高等学校　校長　今井康浩氏

議　　題　　⑴　統合に伴い配慮を要する事項に関することについて
～制服、校章、校歌、部活動等～（報告案）
⑵　室戸高等学校との連携について
⑶　統合前の中学校の歴史、伝統及び文化の継承に関することについて
⑷　統合後の地域への支援、学校跡地の活用について

議事録（概要）

１．開会

２．議題

**⑴　統合に伴い配慮を要する事項に関することについて**
**～制服、校章、校歌、部活動等～（報告案）**

| | |
|---|---|
| 事務局説明<br>（学校教育課長補佐） | **資料　第９回資料１**<br>別紙資料８は、前回配布した資料、別紙資料９は前回委員の皆さんからいただいた意見をまとめた資料。<br>これらを踏まえて、検討結果をまとめたので、内容の確認をいただきたい。 |
| 委員長 | 資料１の報告案について、質問や意見、修正や付け加えたいことはないか。 |
| 委員 | なし。 |

| | |
|---|---|
| 委員長 | 制服、校章、校歌、部活動等に関する課題についての本委員会の報告は、この内容で、案を削除するということでよいか。 |
| 委員 | 異議なし。 |

**⑵ 室戸高等学校との連携について**

| | |
|---|---|
| 事務局説明<br>（学校教育課長補佐） | **資料　第９回資料２**<br>統合中学校の魅力ある学校づくりを考えるうえで室戸高校との連携は大変重要と考えている。室戸ユネスコ世界ジオパークを活かした教育は、他の学校にはない海外に一番近い学校として様々な特色ある取組がされている。ジオパーク学習を通じた中高連携の取組、ポートリンカーンなども含めた国際交流の場として、その他さまざまな行事や部活動等でも連携は可能ではないかと考えている。この後の室戸高校今井校長先生の話を伺ったうえで、皆さんからもご意見をいただきたい。 |
| 今井校長 | まず、室戸高校がどういう学校かを皆さんに知っていただき、そのうえで連携について考えてみたい。<br>本校は総合学科のみで１学年を就職や専門学校をめざす系列と４年制大学をめざすクラスの２つに分けている。あまり知られていないが、福祉、商業、工業もある。<br>全校生徒数は 115 名、募集定員 80 名で、どの学年も定員割れの状況。室戸市の令和５年度の出生数は 28 名で少子高齢化が進んでいる状況もあり、できるだけ室戸を元気にしたい思いで、魅力ある学校づくりに努めている。１学級定員 40 人のため２学級編成には最低 41 人以上の入学生が必要だが、過去 10 年では、４回だけ。地元の４中学校からの入学割合も 50%超えたのは、過去１０年間で令和４年度だけ。<br>県立高等学校振興再編計画が示された（スライド 9）が、その中で、入学者数の努力目標が 41 人以上で、この７年度入学生は 42 人でなんとか目標はクリアしたが、この３年間が重要。令和７年度からの３年間の入学者数を県が見て、令和１０年度に検証し、目標達成の三通りが立たない場合は、学級数減、統合、分校化が現実的に迫ってくる。悪いことに今後３年間、地元中学生の数がぐっと減る。地元から 50%集めたとしても【スライド 10】の数字になる。残りを県外で埋める必要があるが、寮の定員を考えると、すでにこの目標は達成できない目標になる。達成するためには、地元から 70%程度入学してもらう |

| | |
|---|---|
| | 必要がある。室戸市の出生数で将来を考えると、寮を新設するのか、県が言うスマートシュリンクで賢く縮むのか非常に難しい判断を迫られている。まずは、地元から室戸高校に入学する中学生の割合を増やすためにはどういう中高連携が必要なのかを考えていく必要がある。<br>本校の魅力が伝わる中高連携を考えるために、まず室戸高校の魅力として、国際交流、探求学習、女子硬式野球部、国公立大学の合格実績の４点（スライド１３）がある。<br>国際交流は、【海外に一番近い学校】というキャッチフレーズを使って生徒募集をしている。交流機会が多いということ、室戸市の支援によって渡航費用がかからないことも理由。県外生徒募集用に【ときめく国際交流】というフレーズも使っており、昨年度１名だった県外性が、今年度は９名入学してくれている。国際交流の実績（スライド１５）。海外に行くだけでなく、年間通じてたくさんの外国の方がお見えになる。ポートリンカーンとは 30 年以上交流を続けており、昨年４月にはダイアナ市長が来校し、生徒と交流した。10 月にはポートリンカーンの高校生が修学旅行で来校して、2 日間の体験授業をしたが、現地で評判を呼び、今年度は別のポートリンカーンの高校が修学旅行で来てくれる。ジオパーク関係では、令和４年度に初めてタイの国際シンポジウムに参加し、生徒は英語で発表した。令和５年度には、マレーシア、令和６年度には香港を訪問。これらの訪問がきっかけとなり、今年８月にアジア各国と国内のジオパークから高校生を招待してユースフォーラムを開催することが決定し、実行委員会の生徒達が市長に企画案をプレゼンした様子は、高知新聞の記事にもなった。室戸高校は昨年度、高知新聞で 20 回以上記事に取り上げていただいた。これは、県内小中高、どの学校よりもダントツで多い回数。海外に行く生徒は事前にガイド研修を受け、自分が住んでいる地域について深く知り、学んだ内容を英語のスライドにまとめて海外で堂々と室戸を紹介してくれるようになる。高知大学の教授がインドネシアの国立大学生を室戸高校に招き、この交流がきっかけでインドネシアジオパークに招待された。事前学習でインドネシアの地元の人や高知大の留学生と交流を行った。ベトナムの国際シンポジウムにも参加し、様々な交流を生み出した。この２つの海外研修は、高知県産業教育振興会の企業奨励賞を受賞した。龍馬学園の留学生が来校して一緒に授業を受けたり、韓国の高校生との交流プログラムも実施している。 |

| | |
|---|---|
| | ３年間を通じて地域探究学習に力を入れている。研究の成果は大会やフォーラム、シンポジウムで発表しており、日本全国色々行っている。室戸市全域がジオパークに指定されているので、研究テーマは豊富。自然の中で課題を見つけて楽しく学べることに魅力を感じる県外生もいる。探究学習は、国公立大学への推薦入試でも生徒がマイストーリーを語るうえでの大切な材料となっている。学習した内容を郊外で披露する機会も多い。昨年３月に糸魚川ジオパークを訪問し、地元高校と交流した。毎年開催される日本ジオパーク全国大会では、様々な取組を発表している。今年度は北海道での開催を予定。千葉県幕張で開催される日本地球惑星科学連合大会にも毎年参加をしている。<br>女子硬式野球部の部員は全国から集まっている。地域に愛される部活動として、室戸市の様々な行事に参加するようにしている。<br>国公立大学の合格実績は、令和５年度は、３人に１人が高知大学に合格した。室戸高校から高知大学に行けないと思われているが、実は東部地域の高校での実績がある。少人数制できめ細かな指導ができるので、それぞれの入試制度に合わせた手厚い指導を受け合格している。室戸市が土佐塾（公設塾）を開設しているので、無料で塾の指導を受け、一般入試でも合格できる実力がつく。<br>進学だけでなく、就職もしっかり実績を挙げている。令和６年度卒業者の４名が公務員に合格した。合格率 80%、就職した生徒の 40%が公務員。大規模校で個性を潰してしまうより、少人数の中でのびのびと長所を伸ばした方が進路の実現につながる。<br>毎年国公立大学に進学し、国際交流を目当てに県外から入学生も増えて、明るく活気がある学校になっている。<br>室戸高校の魅力を踏まえて、どういった中高連携ができるか。連携により中学生が入学したいと思う室戸高校にするにはどうしたらいいか考えてみた。嶺北、四万十、梼原、清水の高校が連携型の中高一貫教育校。交流授業や部活動、総合的な探究の時間の発表会などの学校行事や生徒会活動などを中高一緒にとりくんでいる。<br>嶺北高校の具体的な取組例としては、授業の交流として、中学校から高校、高校から中学校へ教員が行き授業している。しっかり６年間を見据えてそういう生徒を育成したいか話し合いをして時間割等を決めている。ふるさと教育の推進、学校行事の連携としての中高合同の体育祭、部活動の連携等をしている。これらの連携に必要な組織とし |

| | |
|---|---|
| | て、例えば、部活動であれば部活動部会を立ち上げて中高話し合いをしている。<br>　室戸高校と統合中学校との連携を考える際、これらの高校のように連携型の中高一貫教育校という枠組みを使って連携することも一つの選択肢。6年間でめざす生徒像も共有して、授業の相互乗り入れをするのであれば、こういった枠組みも必要。（スライド 46）チェックを入れた部分は、枠組みを作らずとも負担感なく連携できそうなところ。ふるさと教育の推進では、室戸高校では国際教育の推進や地域課題探究学習の推進に置き換えて考えることができ、室戸高校の魅力ある取組を中学生と一緒に実施できるのではないかと考えている。学校行事は、学園祭や体育祭で中高の生徒会が連携することで合同実施も考えられる。イングリッシュデーの取組も一昨年からやっているが、これらも一緒にやったら面白いのではないか。部活動も責任の所在を明らかにすれば、なんとかできるのではないか。吹奏楽部は、年に数回中学校と合同練習をしているので、距離が近くなればもう少し連携ができるようになる。室戸高校には、福祉、家庭、商業、工業、芸術の専門系列があるので、非常に設備が充実しているので、技術や家庭科の授業では連携しやすいと思う。先日も、漢字検定を実施するさい、受験者数が確保できないと学校での実施ができないが、室戸市内の各中学校に呼びかけて、日時を合わせて合同実施することになった。統合中学校が近くにくれば、こうした検定に向けての対策、補習や勉強会を合同で行うことも考えられる。<br>　今は何をするにも、各中学校の距離がネックになっているが、生徒の行き来がしやすくなれば、もっといろいろな連携が考えられるようになる。 |
| 委員長 | 今井校長の話について、質問はないか。 |
| 委員 | なし。 |
| グループ内意見交換（10分間） | |
| 意見発表 | |
| 1班 | 　子どもたちは、今まで少人数でしか生活していないので、こういう交流の機会が増えたら、大人数での活動という面で、生徒にとっては良い。 |
| 2班 | 　中学校は、今でもきつい授業日数の中でやりくりしているが、その中に、室戸高校との連携を入れていけるか。連携はもちろんやった方 |

| | |
|---|---|
| | が良いが、地域の活動でさえうまくいかないことが多いので、連携の時間をどうやって作るかが一番の課題。 |
| 委員長 | 中学校は総合的な学習の時間の中で動いているが、連携をするとすれば、時間設定、単位はどうするか。 |
| 委員 | するとしたら総合的な学習の時間が一つある。ただ、計画をどうたてていくかには時間はかかると思う。今すぐ交流は難しいかもしれないが、計画をたてていけば、例えば、中学校の総合と高校の探究をうまくリンクさせることができたら、その時間でできると思う。 |
| 委員長 | 授業の時間確保と同時に教員間の協議の時間を確保することが大事。 |
| 3班 | 室戸高校が魅力ある高校で、特徴があって素晴らしいと感じる。連携は、中学校の統合になる過程での今後の課題。 |
| 4班 | 連携のあり方としては、文化祭や避難訓練は合同でした方が良い。海外留学は中学3年生でも高校生と一緒に行けたら、早ければ早いほど良い刺激になるのでは。クラブ活動は、自分達より上手い高校生の姿を見学しに行ったり、高校生はこの中学生を誘いたいとか出てくると思う。あとは、音楽イベント室高生が吉良川の御田さんで音楽イベントをやったと聞いた、中学生と高校生が音楽でつながったり、バンドだけではなく、ヒップホップや音楽流してラップしたり、当たり前に高知市内の中高生とかやっているので、勉強だけではなく、社会で生きていくうえで必要と思った。 |
| 5班 | 連携のあり方は考えていかないといけない。今すぐにでもやりたいと思うのは、生徒会の連携。魅力を大人から伝えるのではなく、生徒会が理想の先輩として小中学生に伝えることで、室戸高校の魅力がつながっていくし、逆に中学校の生徒会も活性化されると思う。うちの生徒会の執行部の生徒が校長室でやりたいことを提案してくれることを聞きながら、高校生の力を借りることができたら、面白いことができると思った。統合の連携を探っていく中で、まず生徒会の連携から始めたら色々なことができるようになるし、魅力が伝わっていくのではと感じた。 |
| 委員長 | 生徒会の活動は課外活動なので、連携時間を確保しないといけないと思った。<br>その他、ご意見はないか。 |
| 委員 | なし |

| | |
|---|---|
| 委員長 | 本日委員から出された意見について、次回に向けて事務局にまとめていただきたい。 |

**⑶ 統合前の中学校の歴史、伝統及び文化の継承に関することについて**

**⑷ 統合後の地域への支援、学校跡地の活用について**

| | |
|---|---|
| 事務局説明<br>（学校教育課長補佐） | **資料　第９回資料３**<br><br>議題３、統合前の中学校の歴史、伝統及び文化の継承について、資料上段は、４中学校の特色ある取組や地域との活動等について各中学校への聞き取りをまとめたもの。これらを踏まえて、各地域からの意見等もいただきたい。<br><br>議題４、統合後の地域への支援として考えられるのは、各地域の行事に地元の中学生に参加してもらうことや、他の地域からも様々な地域を知ってもらうために参加を呼びかけることも考えられる。<br>体育大会や文化祭などの学校行事に保護者だけでなく各地域の住民からの参加も呼びかけるなど、地域とのつながりを大切にする取り組みも必要と考えているので、皆さんのご意見をいただきたい。<br>学校跡地の活用について、資料は令和７年３月に閉校となった元小学校の事例を参考に、利活用手順や地元常会からの意見等について、まとめたもの。今回４中学校が統合した後、羽根小学校は羽根中学校跡地へ移転予定のため、羽根小学校、吉良川中学校、室戸中学校、佐喜浜中学校の４校の利活用について検討する必要がある。ただし、４校とも津波浸水区域となることから、活用方法は限られるかもしれないが、ご意見をいただきたい。 |
| グループ内意見交換（10 分間） | |
| 意見発表 | |
| １班 | 伝統文化の継承について、各地域ごとで今までやってきたことを統合後やれることが少なくなることは分かっているが、佐喜浜の場合はPTA が小中合同のため、アルミ缶回収やバザーなどの収入で学校活動、クラブ活動の遠征費用等を捻出してきた。アルミ缶回収活動は中学生の活動であったが、小学校だけでやることになるなど、地元のことについてはそうなると思う。保小中での取り組みの芋ほり等は、中学校と保育、それに小学校も一緒に参加するなどして畑をするなどし |

| | |
|---|---|
| | ていたが、佐喜浜の場合、地域協働本部の地元の一般の方などが協力して一緒にやっている部分があったので、中学校と一緒にやれない部分は、地域協働本部などの一般の方が参加してくれると思う。<br>神祭はどうしても同日が多いので、結局地元の神祭に参加することしかできないのではと思う。<br>地域行事への中学生の参加についても、統合になって室戸に集まると地元の人はなかなか参加できないとなってくると思う。 |
| 2班 | 吉良川も地域の歴史や文化に関することは佐喜浜と同じかたち。ただ、一緒になることによって、総合的な時間等を使って、各地域から来た中学生が地元の事を探究して発表し合うなど、各地域の文化を相互理解できるような場を作っていただくのは良いこと。<br>議題4は地域の方に委ねるしかない。 |
| 3班 | 佐喜浜、吉良川と同じで、地域の取組は生徒会や生徒同士の活動で情報交換できたり、継承として、地域行事に参加することはプラスになると思う。<br>跡地の利活用については、4つが一気に閉校になるので、すぐに何をするというのはないかもしれないが、どうするかは今後の大切な議題になる。 |
| 4班 | 学校跡地の活用について、キラメッセの縮小版で、スーパーにも車で行けない高齢者やコミュニケーションが苦手で普段合わない人と会うことのハードルが高いと思う方など、ローカルなものや少ない種類の物を売るなど、誰が来ても良い、地域の人の顔が見える井戸端的な場所、ローカルマーケットみたいなものを開催して、羽根、吉良川、佐喜浜から持ち寄って、発表や売ったりできたら良いと思う。 |
| 5班 | 議題3については、どこの班からも出ていたが、総合的な学習等での地域を知るというのは絶対にやらないといけないと思う。地域に関わる部分が大きいので、それを学校がどう継承するかを学校に委ねられるのは難しい部分もあるが、学校運営協議会は絶対に使えると思う。委員も4地区から均等に選出して、その中でそれぞれの地域の伝統文化に関してやれることは何かといった話し合いの場は設けていかないといけない。委員が、今の室戸中学校区だけだと、他の3地区が置いて行かれてしまうので、委員の選出は均等に出して話をしていかないといけない。学校運営協議会が機能し始めたら色々なことができると思う。 |

| | |
|---|---|
| | 学校跡地の活用について、高齢者の活動場所、集落活動センターなど使い続けていかないとすぐに建物が寂れてくる。常会で考えてもらうのが一番。 |
| 委員長 | 統合後は、校区が佐喜浜から羽根になるので、その地域から委員を選んでの学校運営協議会を立ち上げたらいいと思う。統合前の今年（令和７年）からできるのは、総合的な学習を使った合同学習は大事。統合してからではなく、今の中学生が今の地域同士で関わり合う。時間設定は難しいが、総合的な学習等を活用しながら４校が事前に連絡し合って合同でやることも、４校ではなくて２校でも複数校で合同学習ができたら統合中学校でもスムーズに参加できると思う。<br>ご意見をいただいたが、その他ご質問等はないか。 |
| 委員 | なし |
| 委員長 | 今日出た意見を次回に向けて事務局にまとめていただきたい。<br>その他、ご質問等はないか。 |
| 委員 | ６年生の保護者から聞かれるが、今の６年生が中３に統合を迎えることになるが、令和１０年に統合が間に合うのか。噂話で広がったりしているので、現時点での回答をいただきたい。 |
| 事務局 | 今のところ、令和１０年をめざしてというところであるが、買収や工期が伸びたりもあり、今、要求水準書というものが委託業者から年度末にでてきて、どのくらいの工期がかかるものかというところを本当に間に合うのかを精査している状況。近々結果も発表させていただいて、委員にはお伝えする予定。現時点では、まだ言えない状況。 |
| 委員 | 学校では軽々しく返事できないので、噂も広がらないように教員間では共有しておく。 |
| 委員長 | 大切なことなので、最終での責任ある回答として、決まったとしてどういう方法で市民に周知する考えか。 |
| 事務局 | 教育委員、あり方検討委員会委員の皆さんにお伝えすることは当然であるが、予算が議会上で出て行った時点で公表というかたちになる。当然新聞にも出るし、議会でも発表されることになる。 |
| 委員 | できるだけ早くわかるとありがたい。 |
| 委員 | 広報誌で案内は流れないか。 |
| 事務局 | 広報でも周知する。 |
| 委員長 | 広報でも周知をお願いする。 |

終了